

6月議会

清水町 議会だより

No.208

2025年7月30日

発行/静岡県駿東郡清水町議会



議論を通じて町の活性化を 2

福祉支援制度を再考 4

一般質問 9人が町政を問う 6

議員がインタビュー
「失敗しても立ち直れる」と伝えたい ... 16

第26回アジア陸上競技選手権大会女子3000m障害
日本歴代2位(9分38秒16)で4位入賞の
齋藤みう選手
(写真はセイコーゴールデンランプリ2025東京5月18日)

UD
FONT

見やすいユニバーサル
デザインフォントを採
用しています。

6月定例会の初日に、正副議長が改選されたほか、各委員会の委員構成も変わりました。

そこで、中心となる佐野俊光議長と飯田安雄副議長、松浦俊介議会運営委員長に抱負などを伺いました。

—新しい議会体制となりました。抱負を伺います。

議長

議論を通じて町の活性化をしていくことが、我々の使命です。闊達な意見が出せるような環境を作っていきたいです。

副議長

議長とともに様々な考えの議員をまとめ、議長を支えていきたいです。



議長 佐野 俊光

議論を通じて町の活性化を



副議長 飯田 安雄

—昨年度に代表質問が取り入れられたことは大きな議会改革ですね。

議会運営委員長

3月に代表質問が試行的に始まりました。皆さんの了解が得られれば、次の3月もやっていきたいですね。議員が質問の中で、町民の皆様の見解を議会に反映できるように、会派を通じて新たな調査研究を深めてほしいです。

副議長

代表質問は、せっかく始めたので、1回で終わりはなく、続けていきたいと思っています。当局の受け止め方も会派の代表というふうに感じました。

議長

私が議員になる以前は、個人質問は一括質問一括答弁でした。（現在は一問一答。）経験のある松浦議員は慣れているのですが、個人質問との明確な違いを出していく必要がありますね。

副議長

町長の施政方針に対して、その先は何を考えているというのは、一括質問がいいですね。

議会運営委員長

議員も細かく勉強して、全部を踏まえた上で、大局的見地から提案をするというように、代表質問の一括方式は、内容の濃いものにしていかないといけないですね。



議会運営委員長 松浦 俊介



新たな顔ぶれ 常任委員会委員等を紹介します

総務建設委員会

行財政、情報、人事、財産の取得・管理・処分、ごみ、下水道、道路、防災、農業、産業観光などに関する予算や条例などを審議します。



寺島俊郎・森野夏歩・花堂晴美・松浦俊介
佐野俊光・大濱博史・野田敏彦
(委員長) (副委員長)

民生文教委員会

福祉、介護、医療、保健、スポーツ、教育、子育て、文化などに関する予算や条例などを審議します。



飯田安雄・海野豊彦・向笠達也
吉川清里・松下尚美・田代 稔
(委員長) (副委員長)

議会運営委員会

議会の運営、会議規則・委員会条例の整備、議長の諮問、請願・陳情などを審議します。



野田敏彦・飯田安雄・松下尚美
吉川清里・松浦俊介・大濱博史
(委員長) (副委員長)

広報広聴委員会

議会と町民をつなぐために、議会活動や審議の過程・結果をお知らせする議会だよりの編集・発行を行います。



寺島俊郎・飯田安雄・向笠達也
田代 稔・森野夏歩・松下尚美
(委員長) (副委員長)

心身障害児(者)援護金を廃止

6月定例会

令和7年第2回定例会を5月28日から6月18日までの22日間にわたり開催しました。
総合福祉手当に関する条例の一部を改正する条例のほか、一般会計補正予算や特別会計補正予算など8議案が提出され、すべて可決しました。
一般質問では、9人の議員が質問しました。

条例改正

総合福祉手当条例

問 就学援助費制度による新入学用品費は、近年、増額されているのか。

答 国の基準に基づき定めている上限額について、小学校は、令和3年度、5万1060円から、令和6年度は5万7060円と段階的に増額しており、中学校は、令和5年度に3千円増額し、6万3千円としている。

問 障害者総合支援法に基づくサービス利用料が免除となっている人数とその割合は。

答 令和6年度の実績は、障害者介護給付は、226人、88・6%、障害児

通所給付は、22人、9・4%で、これに幼保無償化による障害児通所給付の利用料免除者を加えると76人で32・6%である。

問 サービスの利用率と利用料の平均額は。

答 令和6年度の実績で、障害者介護給付は、利用率は12・4%、利用料の平均は約26万8千円、障害児通所給付は、利用率の算出が困難なため、利用者数で述べると233人で、利用料の平均は約15万6千円である。

問 見直しによる予算削減額は。

答 令和7年度当初予算額ベースで、560万円である。

問 入学祝金に代わる社協の支援制度があるということだが、具体的な事業や制度の内容は。

答 ひとり親家庭の児童が高等学校、専門学校等の入学に要した費用に対し、児童1人につき5万円を交付する。要件は町において、児童扶養手当を受給している家庭で、入学時に児童が町に住所を有することとなっている。

詳細はこちら
社協ホームページ



討論 総合福祉手当に関する条例の一部改正

経済的支援が大幅に充実した

**賛成
です**

児童扶養手当や就学援助の各種制度による支援のほか、障害者総合支援法のサービスが充実したことを踏まえると制度施行当初の目的は達成されたものと思われ、見直しはやむを得ない考える。
今後も複雑、多様化する子育てニーズや障害者支援に適切なサービスが提供されるとともに、さらなる支援を期待する。

(田代 稔 議員)

弱者に負担を集中させる

**反対
です**

平均的な勤労者の年収と比べ、平均年収が低い母子家庭にとって、小中学校の入学に係る費用が大きな負担となっている中、入学祝金が廃止されることは切実な問題である。
また、障害者総合支援法のサービス利用者は、低所得である方が比較的多いため、援護金を受けられなくなることは大きな問題である。
母子家庭と障害者という弱者を選択し、負担を集中させることに憤りを感じる。

(吉川 清里 議員)

町の財政状況を踏まえ福祉支援制度を再考

母子家庭等入学祝金・重度

補正予算

一般会計補正予算(第1回)
7959万円の追加

主な事業

定額減税不足額の給付

5226万円

昨年度に実施した定額減税調整給付金の算定額に不足が生じた人などへ差額を給付。

地域コミュニティ事業

440万円

外原区・的場区の備品購入に対する補助。

長期債元金の返済

2250万円

昨年度に実施した南小学校北校舎改築事業の事業費の減額による町債起債超過分の繰上償還。

契約

小学校学習用 タブレット更新

問 契約する機種をどのように選定したのか。

答 県及び市町教育委員会で構成された静岡県GIGAスクール構想推進協議会が決定している。端末の更新については、国のガイドラインに沿って同協議会が入札事務を執行し、その落札事業者と各自治体が随意契約を締結する手順で行っている。

人事

「人権擁護委員の推薦」
安本晋氏(堂庭)を人権擁護委員に推薦することに同意した。



未来に向けてさらなるタブレットの活用を

令和7年第2回定例会審査結果

議案	森野夏歩	海野豊彦	田代稔	寺島俊郎	野田敏彦	向笠達也	飯田安雄	花堂晴美	松下尚美	大濱博史	松浦俊介	吉川清里	佐野俊光 (議長)	審議結果
人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
専決処分の承認 (清水町税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
専決処分の承認 (清水町都市計画税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
専決処分の承認 (清水町国民健康保険税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
総合福祉手当に関する条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	-	可決
令和7年度清水町一般会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
令和7年度清水町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
令和7年度清水町介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
令和7年度静岡県学習用コンピュータ等の調達契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

○は賛成、●は反対、議長は議事を行うため、賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ裁決します。

9人が町政を問う

「一般質問」とは、行財政全般にわたる議員主導による政策の議論です。



保険証のマイナンバーカードへの一体化に伴うトラブルを防ぐために、国保加入者全員に資格確認書の発行をしている自治体があるが、本町でも同様に取組めないか伺う。



もりの かほ
森野 夏歩

問 国保加入者全員に資格確認書の発行を

答 交付する予定はない

問 マイナ保険証が使えなかったというトラブルの報告は。

答 (住民課長) 令和6年12月2日から現在に至るまで、マイナ保険証に関するトラブルの報告は受けていない。

問 利用率が低く、町内ではシステムトラブルで使えなかったことも聞いている。国民皆保険を社会保障制度として守るために国保加入者全員に資格確認書の発行が必要では。

答 (住民課長) 国民健康保険法及び国の通達により、マイナ保険証の保有者に資格確認書を交付する予定はない。

問 マイナ保険証の利用率は。

答 (住民課長) 町の国民健康保険被保険者におけるマイナ保険証の利用率は、令和7年2月現在で34%である。

なお、県全体では30%、全国では27%となっている。

安心安全な学校施設を

問 南小学校体育館の女子トイレの個室が5つあるにもかかわらず、故障などで使用できるものが和式1つだけとのことであるが、学校の修繕の要望には対応しきれているか。

答 (教育総務課長) 学校からの修繕に係る要望には、可能な限り速やかに対応している。南小学校のトイレの不具合には、情報をいただいた翌日には修繕を行い、現在は使用可能となっている。

問 令和3年3月に策定された清水町学校施設長寿命化計画には、清水中学校は北校舎、南校舎、渡り廊下、部室等が令和3年度から令和7年度にかけて工事となっている

が、具体的な改修等の計画は。

答 (教育総務課長) 清水中学校は南小学校北校舎に次いで工事対象となっているが、社会情勢や財政状況等を考慮し、実施時期を検討していく。

問 町が考える学校施設の在り方は。

答 (教育長) 学校施設は、子供たちが健やかに学び合い、集い、一日の大半を過ごす場所である。子供の成長を支えるにふさわしい場として、施設を良好に保つことは非常に重要であると考えているので、学校現場と綿密に連絡を取り合い、環境整備に努めていく。



今年で築54年となる清水中学校

質問者の動画が見られます



Point



残された家族が安心できるように

問 「エンディングノート」「私の健幸づくりノート」が発行されて約6年が経過するが、町民にどのように活用されているのか。

高齢化が進む中で、本町における高齢者向けの冊子の現状と今後を問う。



寺島 俊郎

答 (福祉介護課長) 人生の最期、終末期に備えて医療やケア、葬儀や相続手続など自らが考える機会になるとともに、自身の意思決定を示すため、家族や医療・介護の関係者たちとの話し合いのほか、介護が必要とならないような生活習慣を見直すきっかけづくりとなるなど、様々な場面で活用されているものと捉えています。

問 ガイドブック発行の目的は

答 効果的なサービスの利用につなげる

問 「エンディングノート」「私の健幸づくりノート」の今後は。

答 (福祉介護課長) 令和元年の発行以来、おおむね3年に一度内容の見直しを行っており、今後も法制度の改正や社会情勢の変化に対応するとともに、様々な専門分野の方からの意見を反映させるよう定期的に見直し、改善を図っていきたい。

問 高齢者支援ガイドブックを作成することになった背景と目的は。

答 (福祉介護課長) 町では2040年を見据え、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進している。

今後、1人暮らしや認知症の高齢者が増えていくことを踏まえ、高齢者向けの生活支援サービス

や地域の支え合い活動などの福祉資源を一つのガイドブックとして取りまとめ、多様な生活支援ニーズに応じたサービス等の情報を提供し、適時効果的なサービスの利用につなげることを目的としている。

問 このガイドブックは高齢者のみならず、シニア世代もターゲットにしてはどうか。

答 (福祉介護課長) このガイドブックは高齢者向けとして作成を進めていくが、これから高齢期を迎える世代に対し、高齢期に向けたライフプランを意識していただくことは重要であるため、今後の高齢者施策の展開に当たり、参考にしていく。

問 ガイドブックの作成に当たっては、他の自治体が発行する評価の高いものを参考にしているのか。

答 (福祉介護課長) 他の自治体のガイドブックを参考にしつつ、内容を検討していきたい。

問 ガイドブックの発行に当たり、広告を募集する予定はあるのか。

答 (福祉介護課長) 本冊子は、高齢者が広告情報にとらわれず、支援情報を的確に理解できる構成を目指しているため、広告の募集、掲載は検討していない。

質問者の動画が見られます





が聞きたい

Point



開設 20 年を迎える防災センター（下徳倉）



む か さ たつや
向笠 達也

問 防災センターの利活用は

答 より良い施設の在り方を検討

問 防災センターの建物、会議室等の概要と建設の経緯は。

来年で開設して20年を迎える防災センターは、休日は年末年始の6日間だけで、毎日開館しているが利用率が低い。今後のさらなる活用と効率的な運営を問う。

答（くらし安全課長） 防災センターは、和室3室を含め6室の会議室があり、最大で60人程度の利用が可能であるほか、調理室、自家発電設備等を備えている。狩野川により分断され、孤立化が懸念される徳倉地区に防災拠点を設置するため、当時の要配慮者の人数等を

勘案し、平成18年度に開館した。

問 令和6年度の運営経費は。

答（くらし安全課長） 職員の人件費やシルバー人材センターへの窓口業務等の委託に約700万円、エレベーターの点検、機械警備の委託、コピー機や防犯カメラの使用等で約200万円、光熱水費が約160万円、合計で約1100万円となっている。

問 開館時間、休日などの運営状況は。

答（くらし安全課長） 開館時間は、午前8時30分から午後9時まで、休館日は1月1日から3日までと12月29日から31日までの6日間となっている。

問 昼間及び夜間の利用状況は。

答（くらし安全課長） 令和6年度の貸館利用件数は、延べ564件。平日は昼間が386件、夜間が45件、休日の昼間が103件、夜間が30件である。主な利用団体は、手芸、体操、琴などの教室となっている。

問 町内の公共施設は休日があるが、防災センターに休日を設けない理由は。

答（くらし安全課長） 防災センターの休館日は、防災拠点としての施設の特性を鑑み、年末年始に限定するよう防災センター条例に規定している。

問 防災センターを地域の身近な場所として活用していく必要があると思うが、町の見解は。

答（くらし安全課長） 防災センターの利活用の方策は、本来の目的である災害時の避難施設としての機能強化に努め、備蓄品や防災資材の充実化を図るとともに、各自自主防災会と連携した活動と防災に関する場と機会を提供する拠点としての活用の充実を図っていく。平時の利活用については、より良い施設の在り方を様々な角度から検討していく。

質問者の動画が見られます



Point



よしかわ きより
吉川 清里

問 高齢者のごみ出し支援を

答 引き続き調査・研究する

問 高齢になるとごみ出しに困難を抱える人が増えてくる。介護保険サービス以外でも、高齢者の生活を支えるためのごみ出し支援が必要ではないか。

答 高齢者から資源ごみ回収時にびん・缶類が重くて運べないとの声があるが対策は。

答 (くらし安全課長) 高齢者生活支援サポーターささえ愛事業(注)などの周知、より良い利用の方法などの再検討を含め、引き続き調査・研究をしていく。

問 三島市が実施している「ふれあいさわやか回収」のように、高齢者の安否確認しながら、ごみを回収する支援策を行うべきではないか。

答 (くらし安全課長) これまで行ってきた高齢者生活支援策の周知、利用方法の再検討、収集方法の変更等に伴うコスト面や民間事業者のサービスへの影響など、引き続き調査・研究をしていく。

(注) ささえ愛事業…町生活支援サポーターが、高齢者のみの世帯の困り事を支援する事業。社会福祉協議会が実施している。

詳細はこちら
社協ホームページ



沼津市旧ごみ焼却場の有害物質は

問 造成工事中に検出された旧ごみ焼却場の有害物質(鉛・ダイオキシン等)の調査結果は公表されるのか。

答 (くらし安全課長) 現在のところ、沼津市から調整中であると聞いている。

問 外原区への説明会は行われるのか。

答 (くらし安全課長) 6月18日に区三役及びこれまでの区長、役員経験者の方々に対し、沼津市が説明を行い、後日、区民には回覧または定例役員会等で周知をする予定である。

防災に女性の力を

問 町の女性防災リーダーや女性消防団の清風隊、地域の自主防災会の女性たちが連携できるネットワークをつくれぬか。

答 (くらし安全課長) 本年から配置された女性職員や清風隊を中心として、連携の在り方や女性防災リーダーの活用について検討していきたい。



女性の連携を進め災害対応力の強化を
(女性消防団員連絡協議会研修会)

質問者の動画が見られます





が聞きたい

Point



適切に廃棄しごみ減量を促進

びん・缶の資源ごみ回収方法の見直しと学用品のリユースにより、地域で支え合う持続可能な循環社会の仕組みを構築するための方策について問う。



はなどう はるみ
花堂 晴美

問 びん・缶の回収をステーション方式に

答 様々な角度から総合的に調査研究する

問 町のリサイクル率について、さらなる向上を目指し、利便性を高める仕組みづくりが必要であると考えます。そこで、アンケート調査などによりニーズを把握した上で課題を整理し、びん・缶の資源ごみ回収をステーション方式とする考えは。

答（くらし安全課長）ごみステーションでのびん・缶の収集については、狭いごみステーションで資源ごみを安全に出すことができる場所の確保、ガラス類や金属類の適正な分別などの資源ごみの質の維持、回収に係る経費の増加などの課題が多くあると捉えています。

また、社会構造や地域コミュニティの変化、超高齢化社会など社会情勢の変化を踏まえ、ごみの排出に関し、町民の皆様の意見を伺うなど、様々な角度から在り方について総合的に調査・研究していく。

問 短期間しか使用しない学用品に関して、個人購入を不要とし、学校で購入・保管するリユースの仕組みを検討しては。

答（教育総務課長）絵具セットや習字セットなど、どれも長期間使用するものであり、人数分の保管場所を確保すること、小学校低学年生は、保管場所から教室への移動時間を考慮すること、多数が使用することで頻繁に破損等が想定されるため、必要数を確保するなど管理面で検討が必要となる。

よって、学用品の共同利用は難しいものと考えている。

問 学校やPTA、地域団体と地域ぐるみで連携し、不要となった学用品を回収・提供するなどの支え合う仕組みを構築する考えは。

答（教育総務課長）制服や体育着、ブラウスなどについては、PTAなどの取組としてリユース活動を行っている学校もある。学用品についても、資源循環型社会の一環として、有意義であると考えているので、各学校におけるリユース活動の際に、使用可能な学用品も加えていただくよう、働きかけていきたいと考えている。

このほかに「働きやすい職場環境の実現に向けて」を質問しました。

質問者の動画が見られます



Point



うんの とよひこ
海野 豊彦

問 民間の力を生かした活動に積極的支援を

答 先進事例や国の動向を注視し研究する

令和3年に策定された第4次健康増進計画の進捗状況とVHSテープが再生機器の生産終了等に伴い、映像が再生等できなくなる2025年問題への町の対応を問う。

問 基本目標にある生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防等、次代を担う世代の健康と高齢者の生活機能向上について、具体的な事業進捗は。

答 (健康づくり課長) 生活習慣の改善は、食育講座や成人健康栄養相談、まち歩きアプリの導入やウォーキングイベントなどを行っている。生活習

慣病の発症予防等は、各種健診(検診)の受診勧奨や無料クーポンの配付を行っている。次代を担う世代の健康と高齢者の生活機能向上は、マタニティ教室や乳幼児等健康診査、健康相談などと介護予防教室や運動グループ育成などを行っている。

問 国では後期高齢者を対象にフレイルに特化した健診を開始しているが、町の対応は。

答 (健康づくり課長) 健康診査等でフレイルに特化した問診を行い、保健師や管理栄養士、歯科衛生士による講座や個別相談等を行っている。

問 町内の介護事業所・介護人材の実情は。

答 (福祉介護課長) ホー

ムヘルパーなどの人材確保に苦慮している話もあるが、現状では、町の介護保険事業の運営に大きな支障とはなっていない。しかし、将来的には介護サービスを安定供給するための人材が不足する見込みであり、人材の確保が重要な課題になっていると捉えている。

問 介護事業者の空き時間を活用した送迎など、民間の力を生かした活動に対し、積極的な支援を求める声もあるが、町はどう捉えているか。

答 (町長) 高齢者が外出しやすい環境の整備や居場所づくりとしての通いの場の拡大に努めている。

今後は、先進事例や国の動向を注視しながら研究する。

VHS2025年問題の対応は

問 町図書館等が、保有するVHSテープは何本あるのか。また、予算措置は。

答 (社会教育課長) 図書館で27本、地域交流センターで115本、うちデジタル化が必要なものは17本ある。なお、新たな予算措置は必要ないものと考えている。

問 行政全体でデジタル化しなければならぬVHSテープは何本あるのか。

答 (企画課長) 記録資産として残す必要があるものは10本程度ある。



貴重な記録が失われないために

質問者の動画が見られます





が聞きたい

Point



こうじを活用した新商品開発へ向け
期待が膨らむワークショップ

町内の伝統的な食文化であるこうじを活用した新商品開発プロジェクトについて問う。
ゆうすいポイント事業の検証と物価高騰対策を問う。



たしろ みおの
田代 稔

問 こうじ文化を活用した新商品開発は

答 令和8年度の完成を目指す

問 商工会を中心に発足した5年間のこうじプロジェクトの内容は。

答 (産業観光課長) 昨年度、特産品委員会を設置、こうじの商品名を「ゆうすいふわり」に決定し、商標登録を行った。今年度こうじの成分分析を行い、新商品開発に取り組み。8年度に新商品完成を目指し、9年度以降は商品のプロモーションと作り手の育成や事業伝承などの課題を検討する。

問 調査研究や新商品開発への資金的支援は。

答 (産業観光課長) 町では国や県の補助金、クラウドファンディングなど資金確保の方法を情報提供していく。

問 新商品完成後のブランド化と販路開拓の支援は。

答 (産業観光課長) 様々な機会で紹介し、ふるさと納税返礼品として登録するなどの支援をしたい。

問 江戸時代から続く町のこうじ文化を歴史的文化財として認定するなどの考えは。

答 (産業観光課長) 類似事例を調査し、検討していきたい。

ポイント事業と物価高騰対策は

問 ゆうすいポイント事業の目的と経緯は。

答 (産業観光課長) ゆうすいポイントは、平成28年に商店街を持たない町において、地域内経済を循環・活性化させるために始まった。近年は、国の交付金を活用した住民生活や地域経済の支援策を展開している。

問 今年度実施する10倍キャンペーンの経済効果の見込みは。

答 (産業観光課長) 具体的な数値を見込むことは難しい。

問 事業の具体的な終了計画はあるのか。

答 (産業観光課長) 制度を終了する計画はない。

問 今後、プレミアム商品券発行事業を実施する考えは。

答 (町長) さらなる物価高騰対策を講じる際には、選択肢の一つとして検討する。

問 制度運用の経費は。

答 (産業観光課長) 運用経費は、加盟店の手数料で賄われている。仕組みは、加盟店がユーザーに購入代金の1%のポイントを発行し、ポイントと同額を手数料として、システム運営事業者に運営経費として支払っている。

質問者の動画が見られます





問 熱中症から町民の命を守る取組は

答 各種取組を進め拡充を図る



まつした なおみ
松下 尚美

問 部活動等における予防策、熱中症が発生した場合の外部指導員への対応は。

答（教育総務課長） 必要に応じ、運動場の気温や体育館の室温、水分補給の推奨等を校内放送し、生徒や教員に注意を促している。

問 クーリングシェアリングに指定した施設の情報を提供は。

答（健康づくり課長） 町ホームページでお知らせしている。全国の指定施設が地図上で確認できる環境再生保全機構のホームページにおいても、町の指定施設の情報が閲覧できるようにしている。

な限り施設開放に協力いただけるようお願いしていく。

問 熱中症から町民の命を守るための迅速かつ効果的な対策が求められているが、より効果的な対策を導入する考えはあるか。

答（町長） 小まめな水分補給や高温時の活動抑制など、自助としての対策を向上させるため、広く関連情報を発信するなど

の支援をしていくほか、公助としてクーリングシェアリングの設置など、各種の取組を進め、拡充を図っていく。

また、清水町環境基本計画において、資源の循環するまち、脱炭素を目指すまちを基本目標に掲げたところであり、温室効果ガスの排出削減等の緩和策の取組と併せながら、各般にわたる熱中症対策に努めていきたいと考えている。

質問者の動画が見られます



問 小中学校の体育館へエアコン設置の検討はなされているか。

答（教育総務課長） 国では、空調設備整備臨時特例交付金が新設され、補助率のかさ上げや補助単価の増額など有利な条件で整備が可能となったが、町の負担が多額となることは変わらないので、全国的な動向を注視していく。

問 6月1日から施行された改正労働安全衛生規則では、熱中症対策の強化が求められ、事業者に対して体制整備、手順作成、関係者への周知の義務が課せられるが、役場での対応は。

問 熱中症特別警戒アラート発表時以外に指定施設を涼みどころとして開放する考えは。

答（健康づくり課長） 指定施設に対しては、誰でも気軽に立ち寄り涼むことができるように、可能



体育館に子供と地域の命を守るエアコン設置を！



が聞きたい

Point

問 SNS等による不審者情報の発信を

答 効果的な方法を検討



まつうら しゅんすけ
松浦 俊介

子供を狙った不審者情報は、学校情報配信アプリで、保護者には情報提供されているが、こども見守り隊など町民に向けた発信の必要性を問う。

問 令和6年度に本町の小中学生を狙った不審者情報は何件あったか、また、どういった事案か。地域性はあるのか。

答 (教育総務課長) 声掛け9件、スマホによる撮影5件、身体に接触があったものが2件であった。

また、地域によって特別に偏りはなかった。

問 不審者情報を町民全体に発信することは、犯罪抑止効果や地域住民の連携と防犯意識の向上、緊急時の迅速な対応支援、住民が安心して暮らせる地域づくりにつながる。

長泉町や熱海市、三島市、富士市では、LINE公式アカウントやメール配信サービスを活用して、防犯情報をタイムリーに発信している。

本町でも、SNS等を活用し、情報発信すべきでは。

答 (企画課長) 他市町の事例を参考に町民の安全・安心な生活に影響を及ぼす重大な事案など、広く注意喚起を要する場合の効果的な情報発信の方法について、検討を進めていく。

町営住宅の優先入居を

問 国は、公営住宅について、子育て世帯、特に住宅困窮度の高い母子・父子世帯、18歳未満の子供が3人以上いる多子世帯、小さな子供のいる世帯を、「特段の事情がない限り、優先入居の対象とすること」と各自治体に通知している。

町営住宅も、子育て世帯、中でもひとり親世帯や多子世帯、また、高齢者や障がい者など、申込者の特性に応じて優先入居枠の設定や収入基準の緩和、倍率優遇制度などを実施できないか。

答 (建設課長) 入居状況や入居希望者のニーズを分析するとともに、他の先進事例を含め調査・研究していく。



家賃や初期費用の負担が少ない町営住宅
(町営外原住宅)

質問者の動画が見られます



追跡

あの質問はどうなった？

過去に議員が行った一般質問が実を結び、
町政に生かされたものを紹介します。



補聴器購入の補助を

問 (令和3年6月 吉川清里議員) 認知症予防のために、加齢性難聴者へ補聴器購入の補助制度を設けるべきではないか。

答 国の補助制度とのバランス、近隣市町の状況、先進事例を参考に調査をしていく。



問 (令和4年11月 吉川清里議員) 認知症予防だけではなく、生活上の利便性、安全性をも担保できるという補聴器使用を広めるために、購入の助成を行うべきでは。

答 補聴器購入助成制度の創設については国の制度化を前提としているが、他市町の動向を注視し、財政面等も考慮の上検討していきたい。



問 (令和6年6月 森野夏歩議員) その後は。

答 県内においても制度を創設する市町が年々増えている現状を踏まえ、先行事例の実施内容について研究していく。



問 (令和6年11月 寺島俊郎議員) 現時点で、県内35市町中、10市3町が助成制度を実施している。町の見解は。

答 財源確保の方策について研究を進める。

現在は・・・

令和7年度から65歳以上の高齢者を対象に補聴器の購入費助成を開始した。

詳細はこちら
町ホームページ



放課後児童教室 長期休暇中の昼食は

問 (平成30年9月 松浦俊介議員) 保護者の負担軽減の観点から、希望する家庭には給食弁当を導入できないか。

答 導入について、保護者や運営事業者の意見を伺いながら、検討していく。



問 (令和元年9月 吉川清里議員) 保護者の要望の実現を。

答 昼食弁当の注文に対するニーズがアンケートの結果高いため、保護者や支援員の負担にならない方法を研究し、実施していきたい。



問 (令和6年6月 松下尚美議員) 以前より要望があった長期休暇中の昼食の対応は。

答 令和6年度の夏休みに限定的に試行する。

現在は・・・

令和7年度の夏休みから全小学校の放課後児童教室で昼食の注文を開始する。



長期休みも昼食支援で安心サポート

「失敗しても立ち直れる」と伝えたい

パナソニック女子陸上競技部 齋藤みう選手



今年度から社会人となり実業団へ進んだ齋藤選手

第26回アジア陸上競技選手権大会女子3000メートル障害で4位となった清水中学校出身の齋藤みう選手にインタビューをしました。

—アジア選手権を終えた感想は。

5位以内が目標の中で自己ベストで4位と、思った通りのレース展開ができ、自信になりました。一方で、世界との差も感じました。

—清水中学校時代の思い出は。

市町駅伝は一つのターニングポイントでした。学校では速い先輩方がいたので、全国中学駅伝や

個人でも全国大会に進み、活躍できる選手になりたいと思います。当時はバスケットと掛け持ちで、どちらの道に進むか、迷いましたが、自分の武器を生かすのは陸上だと思い、進みました。

中学の時は、市町駅伝の区間賞も獲る自信はありましたが、高校では身体や環境の変化で悩むことも増え、市町駅伝はとも苦しかったです。それでも支えてくれる方たちへの恩返しは結果だと思ひ、自分ができるところまではやってみようと、それが今につながっているとと思っています。

—苦しい中でも頑張った秘訣は。

自分の心にあるのは、「失敗しても立ち直れる」ということ。速い人と一緒に練習をすると課題が見えてくるので、自分が何をやるべきか、今やるべきことを計画性を持ってやる。陸上を楽しむ気持ちを忘れない。走って

勝つイメージや応援してくれる方を思い出して力にすることが大切だと思います。

—町の思い出の場所は。

サントムーン柿田川はよく行っていました。全国中学駅伝に出たときに大きなモニターで流れて、すごく応援してもらっていると感じました。清水町は自然があつておっとりしていい好きですね。

—後輩や町民の方へメッセージを。

市町駅伝は、自分が出ないときでも必ず見ています。うまくいかなくても、目標を持ってやり続けられれば、それは絶対に無

駄にならない。後輩たちには、自分が納得のいくところまでチャレンジしてほしいと思います。陸上部をもっともっと活性化させてほしいですね。たくさんさんの応援メッセージをいただき中で、勇気をもらい、ありがたく感謝しています。これからも応援よろしく願ひします。

齋藤みう選手

清水中学校出身。3000メートル障害では2022年、2024年と日本インカレを制覇。7月の第109回日本選手権では惜しくも2位。活躍が期待されている。

議会を傍聴してみませんか

傍聴を希望する方は、本会議の当日、役場5階の受付係に申し出ただき、傍聴券の交付を受けてください。

皆さんの傍聴をお待ちしています。

次の定例会は

9月1日 午前9時
開会予定です。



編集後記

謙虚で真面目、目標に向かってコツコツと積み上げていく。齋藤選手の印象です。インタビューを通して、日本代表になるべくしてなったのだらうと感じました。

身近な選手の活躍を見て、清水町から世界へ羽ばたく子供たちが続いてくれると嬉しいです。

今回の号から編集委員が変わりました。皆さんに身近な広報紙となるよう努めていきますので、よろしく願ひいたします。

(森野)

発行・編集責任者

議長 佐野 俊光

広報広聴委員会

委員長 森野 夏歩
副委員長 松下 尚美
委員 飯田 安雄
向笠 達也
寺島 俊郎
田代 稔

この議会だよりは1万2500部製作し、1部当たりの製作費は約27円です。